

2020～21年度事業報告（前週の続き）

令和3年6月9日（水）



庄司武 親睦委員長



志方正昭 出席・唱歌委員長



坂口嘉久 プログラム委員長



矢野聡 クラブ会報・広報・記録委員長



三枝幹事 増強・職業分類委員会



菱田克己 会員選考委員長



佐野栄作 ロータリー情報委員長



幹事報告

Secretary

幹事報告 第31回（通算1994回）

1. 地区より
 - (1) 5月クラブ運営の現状報告が届いております。
 - (2) 6月度ロータリーの友事務所、ガバナー事務所勤務体制についての案内が届いております。
 - (3) ロータリー日本100年史、財団NEWS 6月号が届いております。
2. 高砂R.C.、加古川R.C.、加古川平成R.C.、姫路R.C.より
例会変更のお知らせが届いております。
3. 幹事より
 - (1) ひょうご子どもと家庭福祉財団より令和2年度の事業報告書が届いております。
 - (2) 来週6/16は、休会となっております、再来週6/23は、本年度最終例会となっております。
例会の参加よろしくお祈いします。



ホームページにて掲載しませんが、御確認お願いいたします。

会長の時間

President

「果たしてロータリーとは？過去・現在・未来」

「日本ロータリー100周年を祝う会」委員長 千玄室さんの基調講演要約しました。

「流水間断なし」の言葉のごとく、水滴が集まり水溜まりになりそして川になるように日本ロータリーも発展してきました。

アメリカで生まれたロータリーがこれまで発展したのはなぜなのか？ロータリーの価値観とは何でしょう？100年たった今改めてここにある自分がどのようなロータリーの活動をしてきたかを見直す時期です。

Vocational 天から与えられた職業を通じて世の為人の為に手を差し伸べることが出来るかどうか問われています。

米山さんが日本に伝えるときに悩んだ英語はserviceという言葉。

当時、日本ではサービスはしてもらうのが当然あたりまえという考え方だった。

クリスチャンの国であるアメリカでは、神から与えられた恩恵に対してお返しをしなければ



ならないという思想を持っていた。

日本では奉仕の意味をお返しをするという言葉で教えないといけない、それにはservice + 布施がロータリーの根本精神だと説明されました。

米山さんは、日本ではお金だけではない仏教の無財の七施がそれに当てはまると考えました。自分の身をもって心をもって他人に尽くす、人様の為になるように考えるのが奉仕の哲学。そしてそれを口だけではなく実践行動することで奉仕の哲学が世間に広まるのです。

その哲学を自分の職業を通じてどのように考え実践するのが大切なのです。

ロータリーは、世間ではお昼に集まって食事して、歌歌ってお金を持っている人が施しをする人が集まる団体だと思われている。

私がちょうど青年会議所で学んでいた時1954年には、各府県に1クラブだったがアディショナルクラブを作ることになり、これからは若い人材（ローターアクト）を育てようということになった。その頃は、私にとってロータリーは雲の上の存在であった。

父がメンバーであったので話をよく聞いていた、家族例会に連れて行かれてもふんぞりかえったばかりで地名主でないと入れないと思った。

私が青年会議所の理事の時、京都木村ガバナーに「あなた、青年会議所の若いメンバーを集めてクラブ一つを作りなさい」と言われた。

そして1955年に京都南ロータリークラブを立ち上げて青年会議所の理事長をしながら幹事をやらされ、手続き要覧が全て英語だったので大変苦労した。その頃の会長は全て幹事に丸投げで、必死に手続き要覧を読み、そのお陰で若くしてガバナーやRI理事をすることが出来たと思う。

私がRI理事の時に決議23-34職業奉仕の理念ができました。

Service above self超我の奉仕という言葉在前面に出さねばロータリーは続かないだろうと思った。He profits most who serves best最も奉仕するものが最も多く報いられる

何かをするたびに見返りを求めるような奉仕では先が見えているのです。本来奉仕の意味の中にdedicate自分の身を捧げるという意味があるのです。

ロータリアンになったら自分の立場、居場所を認識する、その居場所を通じて他人に奉仕する。私と同期で初めて黒人で理事になった会長の言葉「rent your handあなたの手を貸して下さい」が印象に残っています。

ロータリーは未来に向かって何をすべきか。

田中作治会長「平和でみんなが手を取り合って困っている人に自分の身を捧げていこう！」

ロータリーは世界の人類の平和と平等を目指し差別Discriminationを無くす。

ポリオの理事になって世界を回った時、「ロータリーはお金持ちの集まりやから何か施しをしてくれるだろう」と言われた時は悲しかった。

これからのロータリーの仕組み仕様も大事だが難しくすればするほどやりにくくなる。

RI自体が魅力ある団体にすべきです。

次の会長もメンバーを増やそうと言っているが、頭を下げて入ってもらうのではなくロータリーに入れてください、ロータリーに入って学びたいという人に入ってもらうクラブでないと意味がない。「ロータリーは紳士になるための道場だぞ！」と言われた。

素晴らしい機能を持った多様性のあるハイウェー的組織を作ること、安心して各国のクラブが走れるようにして欲しい。中には逆走するクラブもありますね。

素晴らしい日本のように規定期款を守ってやっているクラブは数少ない。

自分達のやりやすいようにしている欧米、中南米クラブが多いのも現実です。

ロータリーはクラブがあってこそ、世界に繋がっているから、クラブが大事。

メンバー同士が深い絆で結ばれ心を交わさないといけません。

会長を中心にAll together精神で肩を抱き合い信じ合い自由に語り合い理解し合うことが重要です。ロータリーから奉仕を取ったら未来はありません。

善意という波が大きく地域社会に打ち寄せていく。私たちは善意の心を持って人様へ手を差し伸べて次の100年に向かって新しいレガシーを残して行きましょう！

◆ プログラム予定 ◆

6月23日(水)	創立記念例会 会長・幹事退任挨拶
6月30日(水)	休会【定款第7条第1節(d)による】
7月7日(水)	会長・幹事就任挨拶
7月14日(水)	臨時総会【定款・細則・決算・予算承認】高砂RC会長・幹事訪問

●●● 近隣クラブインフォメーションは、高砂青松ロータリークラブのホームページにてご確認ください。 ●●●

会長 村上 則宏 幹事 三枝 丈次 クラブ会報・広報・記録委員長 矢野 聡

例会日時 毎週水曜日 12:30 例会場 高砂商工会議所会議室(2F)

事務局 高砂商工会議所内 〒676-0064 高砂市高砂町北本町1104 電話(079)443-0500